

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム報告書

氏名： 黒田 賢治	提出日：平成 24 年 4 月 5 日
東南アジア研究所における職名： *右記の該当する職位に○をつけて下さい。(講師・助教・助手・ <input type="checkbox"/> ポストドク・博士課程学生・修士課程学生・学部学生)	
派遣先の研究機関等(調査を実施した国名・機関名(日本語で記載)及びカウンターパート名)： G・E・フォン・グリュエネバウム中近東センター(UCLA)、スーザン・スリモヴィクス教授 *派遣先の研究機関等の種類について右記の該当する箇所に○をつけてください。(大学・研究機関・企業・その他)	
派遣先の研究機関等での職名：客員研究員 (Visiting Scholar)	
派遣期間： 平成 24 年 1 月 10 日 ~ 平成 24 年 3 月 27 日 (派遣日数： 78 日)	
研究活動等の主な内容(該当する番号に○をつけてください。複数可) <input type="checkbox"/> ①研究・実験 <input type="checkbox"/> ②フィールドワーク <input type="checkbox"/> ③セミナー <input type="checkbox"/> ④インターンシップ <input type="checkbox"/> ⑤サマースクール等の講習 <input type="checkbox"/> ⑥学会出席 <input type="checkbox"/> ⑦単位取得等 <input type="checkbox"/> ⑧その他	
研究活動の主な領域(該当する番号に1つ○をつけて下さい。) <input type="checkbox"/> ①人文学 <input checked="" type="checkbox"/> ②社会科学 <input type="checkbox"/> ③数物系科学 <input type="checkbox"/> ④化学 <input type="checkbox"/> ⑤工学 <input type="checkbox"/> ⑥生物学 <input type="checkbox"/> ⑦農学 <input type="checkbox"/> ⑧医歯薬学 <input type="checkbox"/> ⑨総合領域 <input type="checkbox"/> ⑩複合新領域	
派遣の概要(500~700字程度) <p>本派遣は、イスラームを文化資源とした、あるいはイスラームを媒介としたアソシエーションの活動と政治体制の移行について、中東と東南アジアの比較研究を進めることを目的に行われた。</p> <p>報告者は、カリフォルニア大学ロサンゼルス校G・E・フォン・グリュエネバウム中近東センター(The G. E. Von Grunebaum Center for Near Eastern Studies, University of California Los Angeles)において、同センター長であるスーザン・スリモヴィクス(Susan Slyomovics)教授の指導のもと、客員研究員(Visiting Scholar)として、1980年代のイラン国家の支配構造とイスラーム・アクターとの関係について研究活動を進めた。また同研究所およびUCLAの各研究科で行われているセミナーに積極的に参加した。</p>	
事業に係る研究成果(500~700字程度) <p>本派遣においては、研究会への参加および後述する自身の発表を通じ、研究対象についての表象方法についての難しさ、また学問とアクティビズムの密接な関係を背景とした研究成果の発信にかかる困難さを痛感した。ロサンゼルスには、イラン革命前後にイランを後にした在外イラン人が数多く居住しており、報告者のような革命後のイランやイランにおけるイスラーム法学者を対象とした研究をするうえで、政治的な立場が重要な問題となる。そこで不毛な批判を避けるうえでも、今後研究対象について議論を行ううえで、研究対象に対する表象の方法について今一度考え直す必要があることを強く認識できるようになった。</p> <p>また前述のように2012年3月6日に同研究所の冬期講義シリーズにおいて口頭発表を行った(発表題目：Transformation of the Religious Academia in Iran under the “Islamic” State)。本派遣から得られた知見を基にした成果発信として論文を投稿するにあたり、本発表は論文の内容をよりリバイスするためのものと位置づけることができる。そこで得られた質問およびコメントに基づき、投稿原稿の修正を図りたい。</p>	